

商法入門		非常勤講師 小杉 伸次	
科目カテゴリー	国際ビジネスコースの専門 選択科目、会計ファイナ ンスコースの専門選択科目	科目ナンバリング	23220212

1. 授業のねらい・概要

この講義では、主に「商法総則・商行為法」についての授業を行う。私たちは日々、商品又はサービスの提供を受けて生活しているが、その製造、販売主体は企業である。「商法入門」においては、このような企業の組織、活動、取引に関して、基本的な規定を有する商法とはどのような法律であるかを学んでゆく。

2. 授業の進め方

法制度・法に関する著述は難解で、とっつきにくいと感ずる学生も少なからず存ずると思われる。講義ではこれに関する緩衝材として、適宜、新聞記事、重要判例等を織り混ぜながら進めていく。

3. 授業計画

1. 商法の形成	9. 商事売買
2. 商法総則・商行為法の適用範囲	10. 仲立と取次
3. 商業登記	11. 運送営業と倉庫営業
4. 商号	12. 場屋の主人の責任
5. 営業譲渡・事業の譲渡	13. 匿名組合
6. 商業帳簿	14. 交互計算
7. 商業使用人と代理商	15. まとめ、到達目標の確認
8. 商行為・商人の行為に関する規定	

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

社会科学において“より妥当と思われる結論”は一つではない。従って、講義予定箇所について教科書のみならず、複数の文献にあたって調べる事が望まれる。これに要する時間は無限にかかる。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

定期試験とは別にレポート試験を実施する。事前に出題意図を説明し、事後に簡単な講評を付して、各人に返却する。

6. 授業における学修の到達目標

- 1) 商法の基本を理解し、説明することができるようにする。
- 2) 関連する重要判例について説明することができるようにする。
- 3) ビジネスを取り巻く様々な法律問題に関心を持つようにする。

7. 成績評価の方法・基準

定期試験〔Ⅰ，論述問題・質・量を評価，Ⅱ，法律専門用語の簡潔な説明を求める（5問）〕（60％）

受講態度等（10％）

レポート試験（30％）

8. テキスト・参考文献

遠藤喜佳・松田和久『商法総則・商行為法』[改訂版]（税務経理協会，平28）（民法改正に絡み改訂中であることなので，最新のものがよい）

参考文献については講義中に適宜紹介する。

9. 受講上の留意事項

「ポケット六法」(最新版)等は毎回必携のこと。

「日本経済新聞」等には目を通すようにすること(常に最新のデイリーなニュースを知ることは、大学生として必要なことであり、併せて就活の準備にも役立つ)。

公開会社法としての金商法の知識があればさらに良い。